

コミュニティバス大野犬飼線実証運行について

大野町自治会からの要望により、令和4年1月から10月まで実証運行を行いました。

この実証運行は、路線バス竹田―大分線が廃止になり大分市へのアクセスがなくなったことから、大野町自治会から要望をうけ、大野町田中から交通結節点となるJR犬飼駅と結び路線を実証運行区間として設定し、利用者の動向を調査、分析を行いました。

■実証運行期間 令和4年1月～3月 5月～10月 9か月間

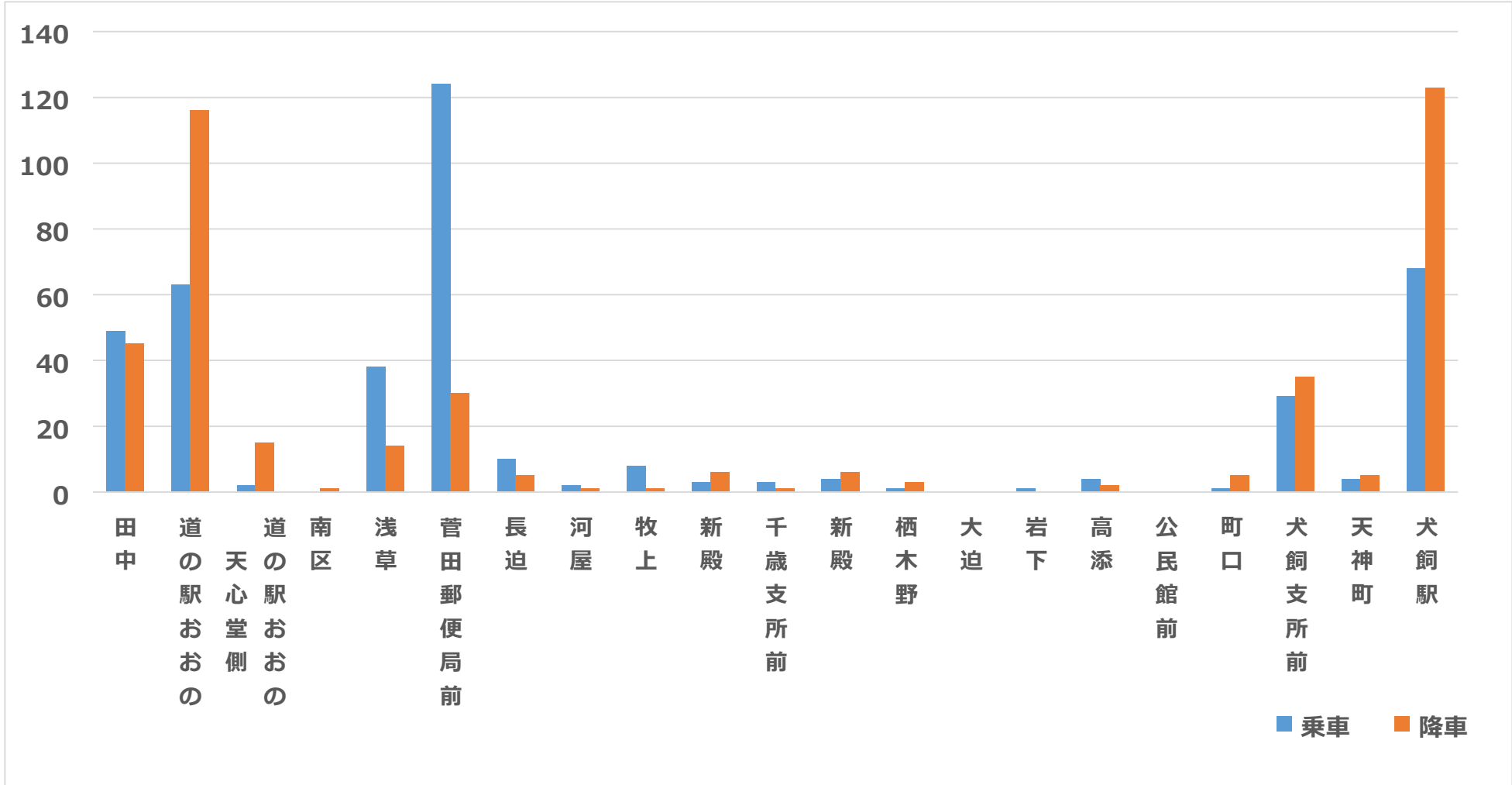
■月別利用者数

	1月	2月	3月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計
運行日数	20	20	20	22	22	21	21	21	21	188
利用者数	47	42	58	51	58	58	51	49	63	477
1便あたり利用者数	0.39人	0.35人	0.48人	0.39人	0.44人	0.46人	0.41人	0.39人	0.50人	0.40人

※ 1日あたり6便、月～金運行

上の表は月別の運行日数、利用者数、1便あたり利用者数の表です。実証運行は運行日は188日、乗降客数が477名、運行日1日あたりの利用者人数は2.53人でした。1日あたり6便運行しましたので、1便あたりの利用者は0.4人となり、だれも乗らずに運行した便や日がありました。

■バス停別乗降調査



バス停別では、田中、道の駅おおの、菅田郵便局前、犬飼支所前、犬飼駅バス停の利用者が多くいらっしゃいました。特に菅田郵便局前バス停の利用者は多かったものの、当初想定していた犬飼町方面に加え、大野中心部への利用者も一定数いらっしゃったことから、重複路線による利用者の分散により、さらに利便性が図られた結果となりました。

ですが、長迫バス停から町口バス停の区間になると利用が低調となり、利用がないバス停も見られました。

■ 検証結果

「大野町から大分市内方面へ向かう交通手段がなく、コミュニティバスを乗り継いでJRを利用している状況で不便なので、ニーズ調査を行い、利用者が多ければ大分市内方面に向かうコミュニティバス等を運行してほしい。」という大野町自治会から要望書を令和3年11月にいただきました。

かつては竹田市から豊後大野市大野町を經由して大分市とを結ぶ路線バス竹田大分線が運行していましたが、利用者が年々減少し、路線を維持することが困難とバス事業者が判断したことから平成29年9月30日をもって竹田大分線が廃止されました。

また、高速バス大分熊本線についても、令和3年4月1日より大分熊本間の時間短縮や、利用者の少ない区間のルートを見直したことに伴い、大野町田中から大分市方面へ向かう便が大きく減少しました。

こうした状況を憂慮した大野町自治会からの要望にお応えする形で、犬飼駅での乗り継ぎになりますが、大分市方面へ向かう新規バス路線開設に向けた実証実験（ニーズ調査）を令和4年1月から10月までの9ヶ月間（途中1ヶ月間運休）行いました。

期間中、自治会を通じて時刻表の全戸配布（計3回）や大野町内を対象とした音声告知放送による利用を促す放送等を行いながら、月曜日から金曜日まで1日6便、計188日間、477便を運行しました。

期間中、利用者から「大変助かる」「運行を継続してほしい」というご意見をいただきましたが、路線維持を行うための一つの目安としていた1片道あたりの利用者数1.0人を下回る0.4人と低調であったことから、現時点では路線維持が出来ないと判断し、実証運行を休止することといたしました。

今後につきましては、既存路線である大野町から三重町を結ぶ路線バス矢田線を活用し大分市方面へおでかけいただければと考えております。

今後とも、地域公共交通の確保維持の取組にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。